

2023年(令和5年)11月22日(水曜日)

科学大高に雪辱

海星男子 全国切符

私立高テニス 選手権道予選

室蘭・海星学院高校男子テニス部は、三笠ドーム(三笠市)で行われた第1回北海道私立高校選手権兼第14回全国私学選手権予選(10~12日)の団体戦に出場し、優勝した。決勝では選抜大会予選で惜敗した好敵手と対戦。見事リベンジを果たし、全国切符を手にした。(小笠原皓大)

大会は予選リーグと決勝トーナメント方式で行われ、同学院は決勝まで順調に勝ち上がった。

決勝の相手は北海道科学大高(札幌支部)。10月にあった全国選抜大会北海道地区大会兼北海道秋季大会(函館市)の3回戦で競り負け、この大会を制した相手だ。

再び激戦となった。ダブルス1番手として登場した舟山・佐藤克が5-7と敗れ苦しいスタート。それでもシングルの佐藤傑が7-6、ダブルス2番手の村上・長部が7-6とともに接戦をものにし、計2-1で雪辱を果たした。

菊地竜平総監督は決勝を振り返り「試合の流れを左右する1試合目のダブルス1番手がつまづいたのが痛かった。結果的に苦しい展開になってしまった」と総括した。

宮崎県へ強化遠征を予定していると言いつつ「長所と短所を洗い出し、自分が出し、自分が出たような選手なのか、どれだけ自己理解を深められるかが全国で戦ったための鍵になる」と話した。

本大会は来年1月18日、兵庫県で開幕する。

▲優勝した海星テニス部男子メンバー(提供写真)

